

# 協会けんぽの医療費について (速報)

1. 協会けんぽ発足後1年間の医療費の状況
2. 協会けんぽの加入者における後発医薬品の使用状況

# 【1. 協会けんぽ発足後1年間の医療費の状況】

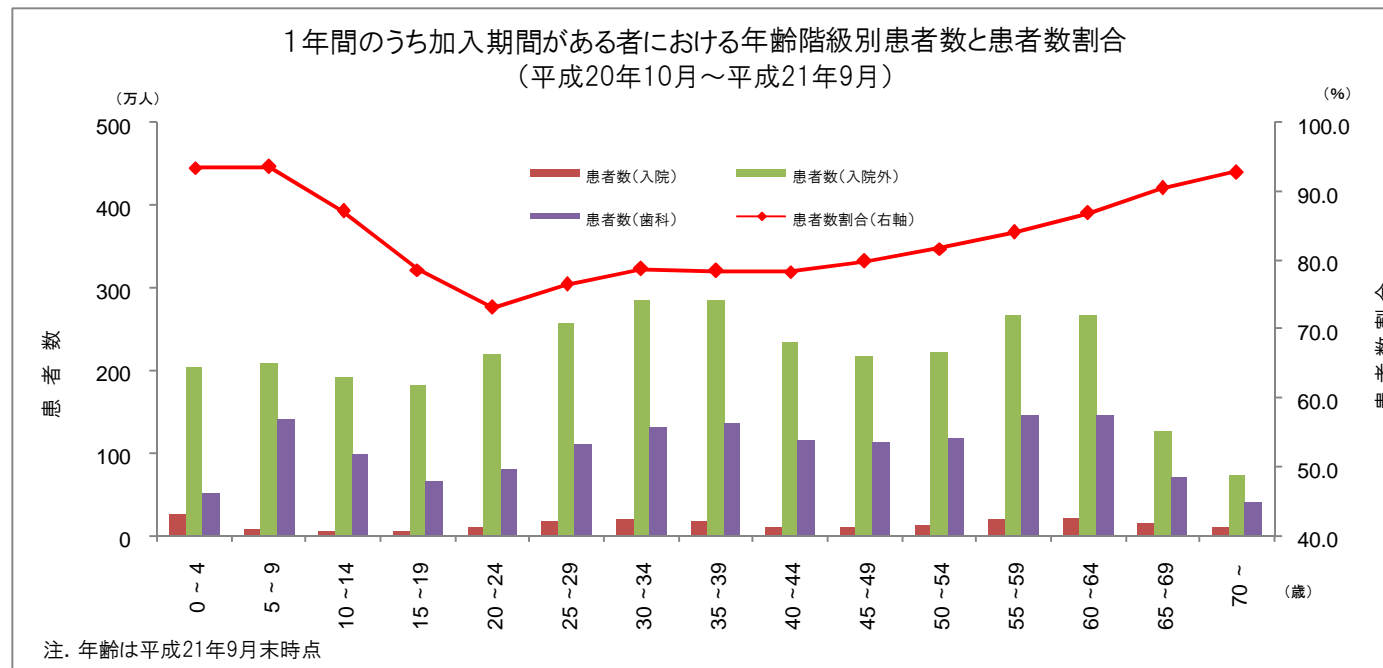
1年間の患者数と患者数割合(平成20年10月～平成21年9月)

	総計			
	入院	入院外	歯科	
患者数	201 万人	3,249 万人	1,561 万人	3,490 万人
患者数割合(%)	4.8 %	77.0 %	37.0 %	82.7 %
(再掲) 加入期間が1年間ある患者数	144 万人	2,379 万人	1,231 万人	2,531 万人

注1. 患者数は、1年間のうちに病院・診療所又は調剤薬局を利用した加入者の人数。総計には、調剤薬局のみを利用した者を含む。

(診療年月が平成20年10月から平成21年9月で平成22年1月までに請求されたレセプト(医科歯科調剤)がある加入者の人数。)

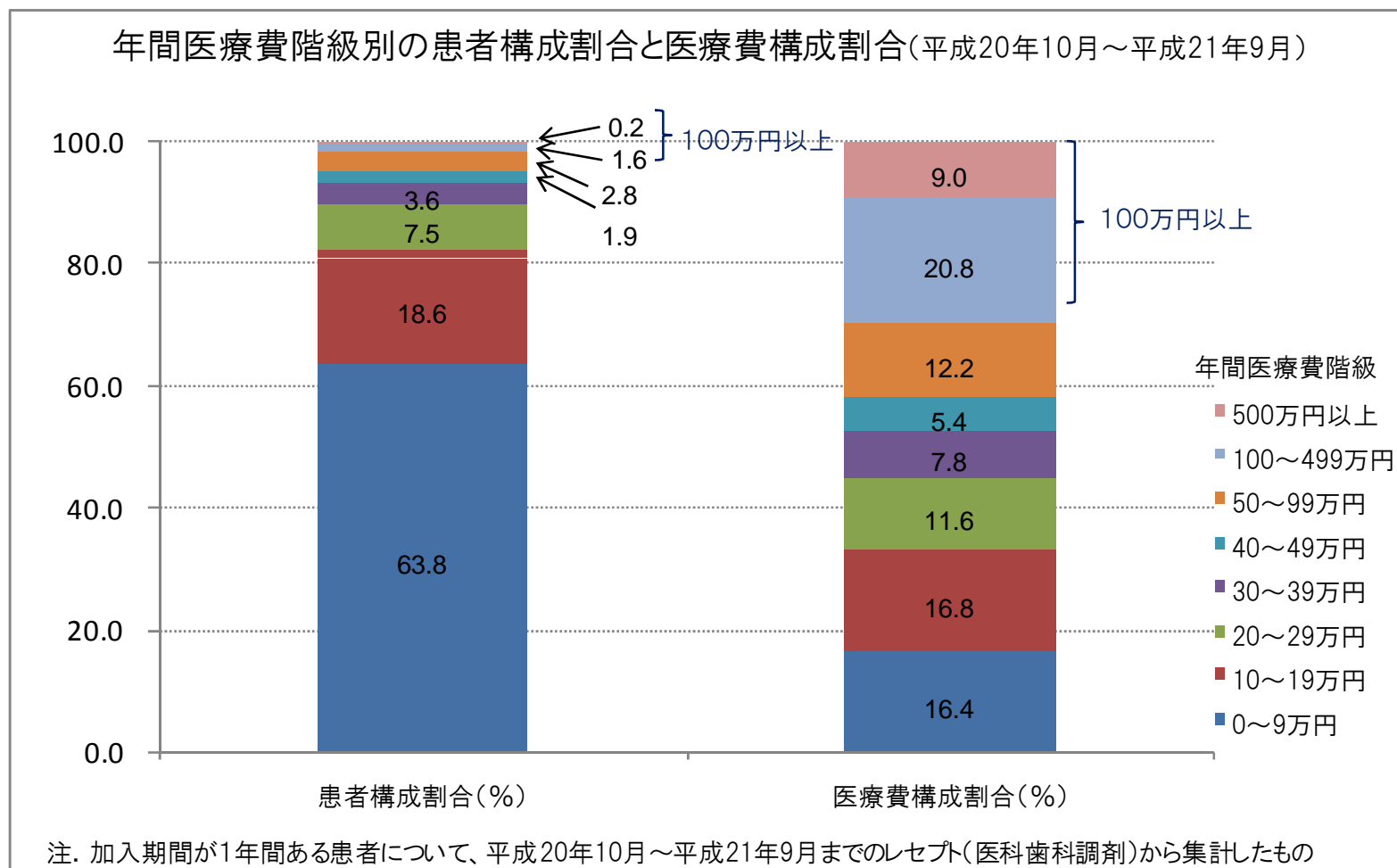
注2. 患者数割合は、1年間のうちに加入期間がある加入者数(資格喪失者等を含む)に対する1年間のうち1回以上病院・診療所又は調剤薬局を利用した加入者(患者)数の割合。



# 年間医療費階級別の患者構成割合と医療費構成割合

～ 加入期間が1年間ある患者（平成20年10月～平成21年9月）～

- ・患者のうち約6割が年間医療費10万円未満(医科歯科調剤計)
- ・年間医療費100万円以上の患者(全体の約2%)の医療費は、医療費全体の約3割を占める



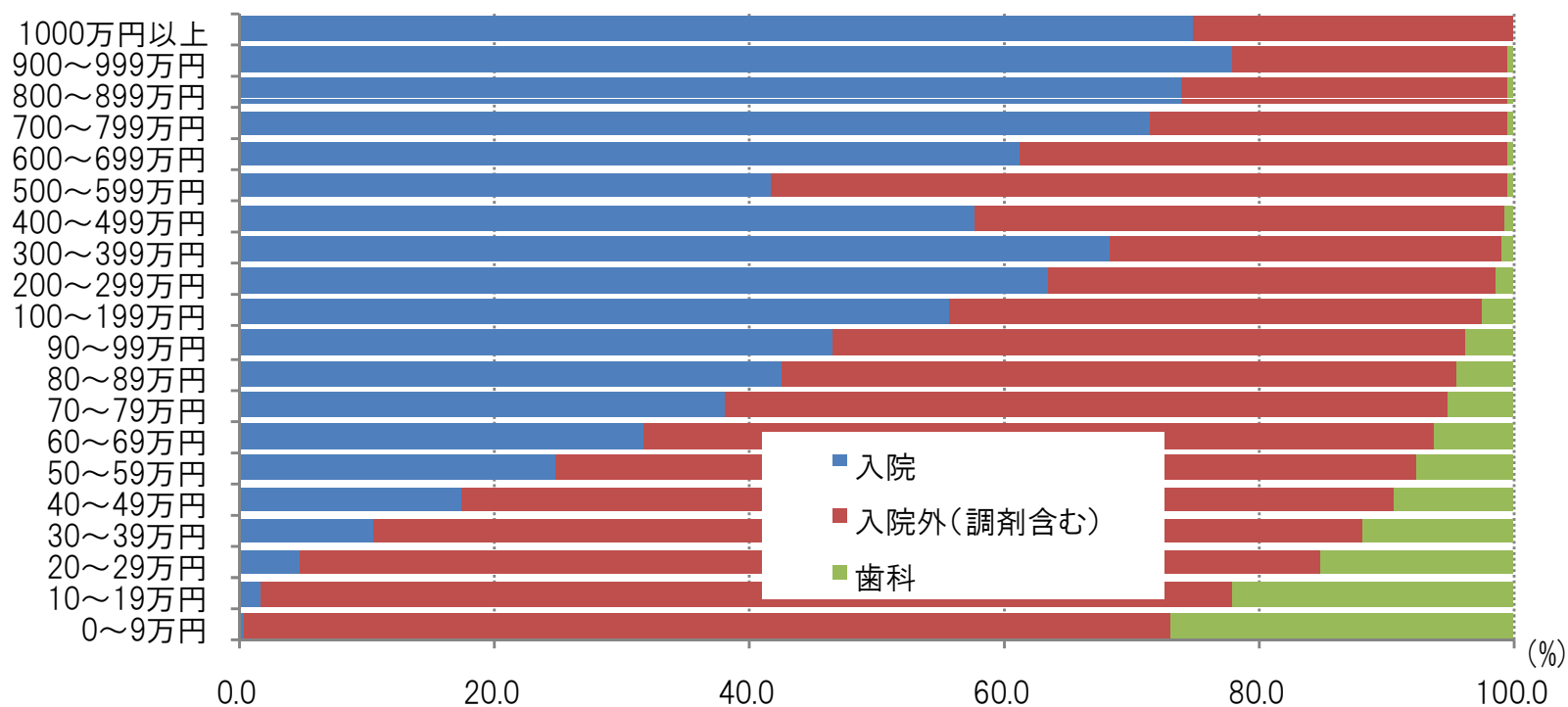
# 年間医療費階級別の医療費の診療種別内訳

～ 加入期間が1年間ある患者（平成20年10月～平成21年9月）～

- ・年間医療費10万円未満の患者の医療費の約7割が入院外(調剤含む)医療費
- ・年間医療費100万円以上のほぼ全ての階級において入院医療費の占める割合が高いが500～599万円の階級のみ入院外医療費の占める割合の方が高くなっている

年間医療費階級別の医療費の診療種別内訳(構成割合)

(平成20年10月～平成21年9月)



注. 加入期間が1年間ある患者について、平成20年10月～平成21年9月までのレセプト(医科歯科調剤)から集計したもの

(参考) 患者の年間医療費階級別の主な傷病と医療費構成割合(上位3位)(入院・入院外レセプトに限る)

年間医療費	主な傷病1	主な傷病2	主な傷病3
0～9万円	その他の急性上気道感染症[1003] (7%)	その他の損傷及びその他の外因の影響[1905] (5%)	屈折及び調節の障害[703] (5%)
10～19万円	高血圧性疾患[901] (13%)	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患[403] (5%)	喘息[1010] (4%)
20～29万円	高血圧性疾患[901] (9%)	糖尿病[402] (3%)	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患[403] (3%)
30～39万円	高血圧性疾患[901] (15%)	糖尿病[402] (6%)	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患[403] (5%)
40～49万円	高血圧性疾患[901] (9%)	糖尿病[402] (8%)	その他の消化器系の疾患[1112] (4%)
50～59万円	糖尿病[402] (7%)	高血圧性疾患[901] (6%)	その他の妊娠, 分娩及び産じょく[1504] (5%)
60～69万円	糖尿病[402] (7%)	良性新生物及びその他の新生物[211] (6%)	高血圧性疾患[901] (5%)
70～79万円	良性新生物及びその他の新生物[211] (7%)	糖尿病[402] (6%)	高血圧性疾患[901] (4%)
80～89万円	良性新生物及びその他の新生物[211] (7%)	糖尿病[402] (5%)	その他の消化器系の疾患[1112] (3%)
90～99万円	良性新生物及びその他の新生物[211] (6%)	糖尿病[402] (4%)	その他の消化器系の疾患[1112] (3%)
100～199万円	その他の悪性新生物[210] (4%)	虚血性心疾患[902] (3%)	骨折[1901] (3%)
200～299万円	その他の悪性新生物[210] (6%)	虚血性心疾患[902] (5%)	関節症[1302] (4%)
300～399万円	その他の悪性新生物[210] (10%)	虚血性心疾患[902] (5%)	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害[503] (4%)
400～499万円	腎不全[1402] (14%)	その他の悪性新生物[210] (8%)	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害[503] (8%)
500～599万円	腎不全[1402] (28%)	その他の悪性新生物[210] (7%)	脳内出血[905] (3%)
600～699万円	腎不全[1402] (14%)	その他の悪性新生物[210] (8%)	脳内出血[905] (4%)
700～799万円	その他の悪性新生物[210] (8%)	腎不全[1402] (7%)	その他の心疾患[903] (5%)
800～899万円	その他の悪性新生物[210] (8%)	腎不全[1402] (7%)	その他の心疾患[903] (5%)
900～999万円	その他の悪性新生物[210] (7%)	その他の神経系の疾患[606] (6%)	腎不全[1402] (6%)
1000万円以上	白血病[209] (16%)	妊娠及び胎児発育に関連する障害[1601] (7%)	その他の神経系の疾患[606] (6%)

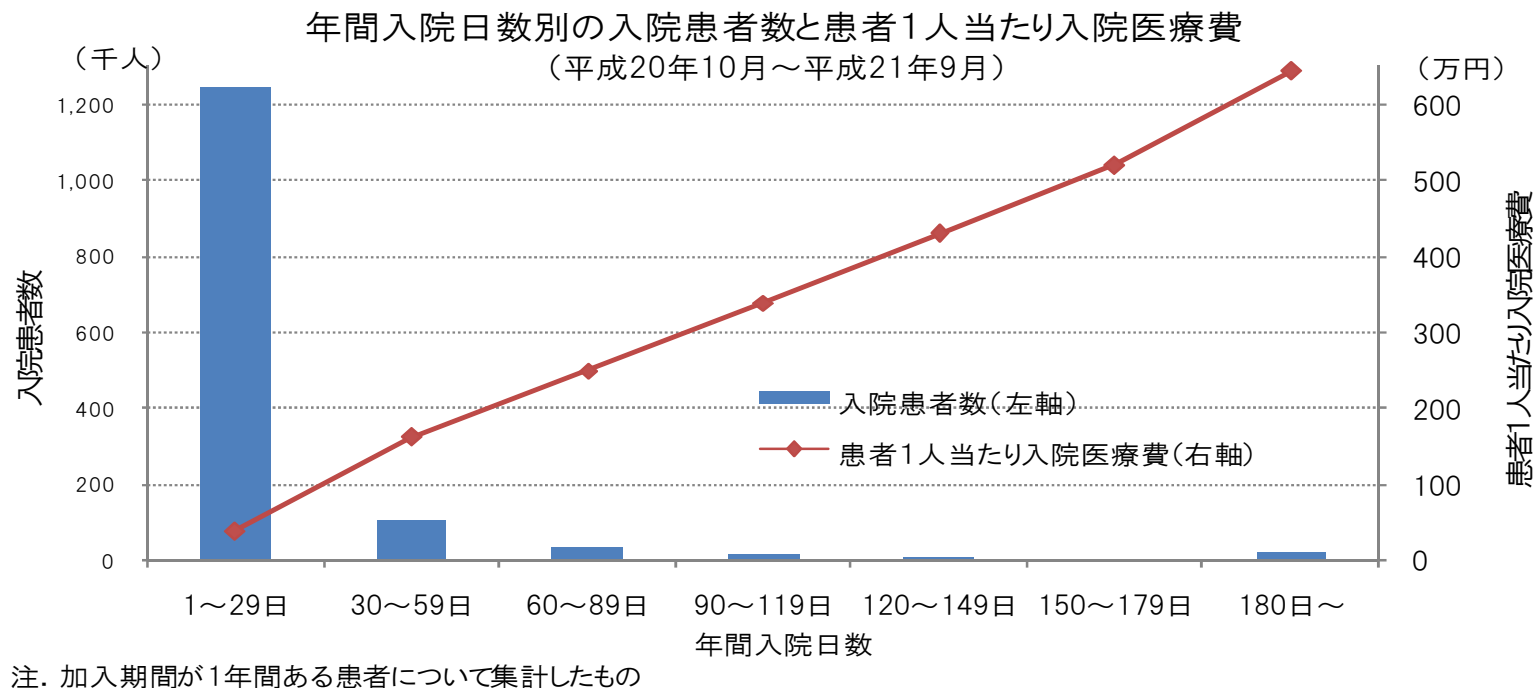
注1.平成20年10月～平成21年9月までに加入期間がある加入者について、同じ期間内の入院レセプト及び入院外レセプトを集計したもの

注2.傷病名が協会システムにおいて不明なレセプト分(手書きレセプト等)については、同じ年間医療費階級内の他のレセプトを用いて推計している

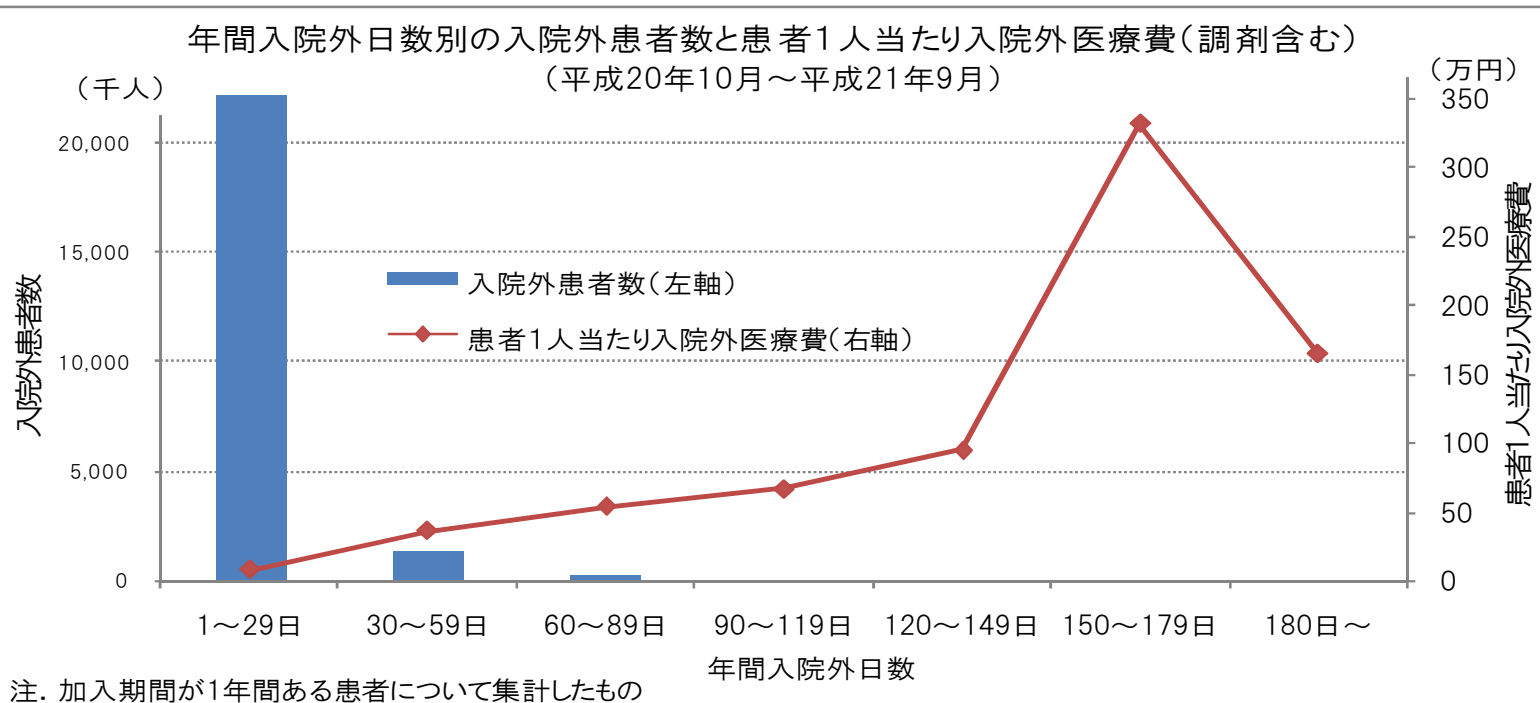
注3.青色は入院の傷病、赤色は入院外の傷病

注4.カッコ内は各年間医療費階級におけるの傷病別の医療費構成割合

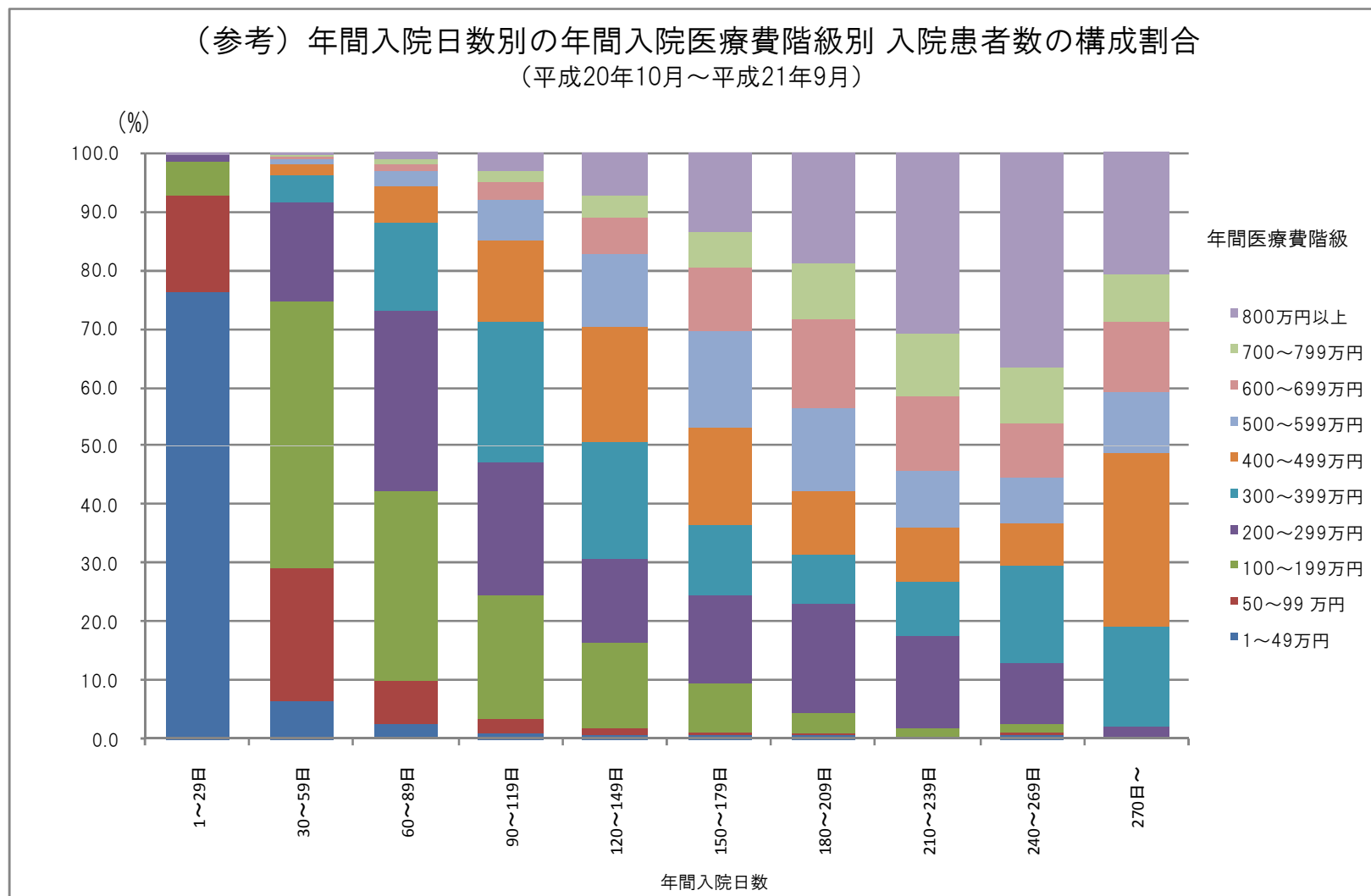
## 【入院】



## 【入院外】

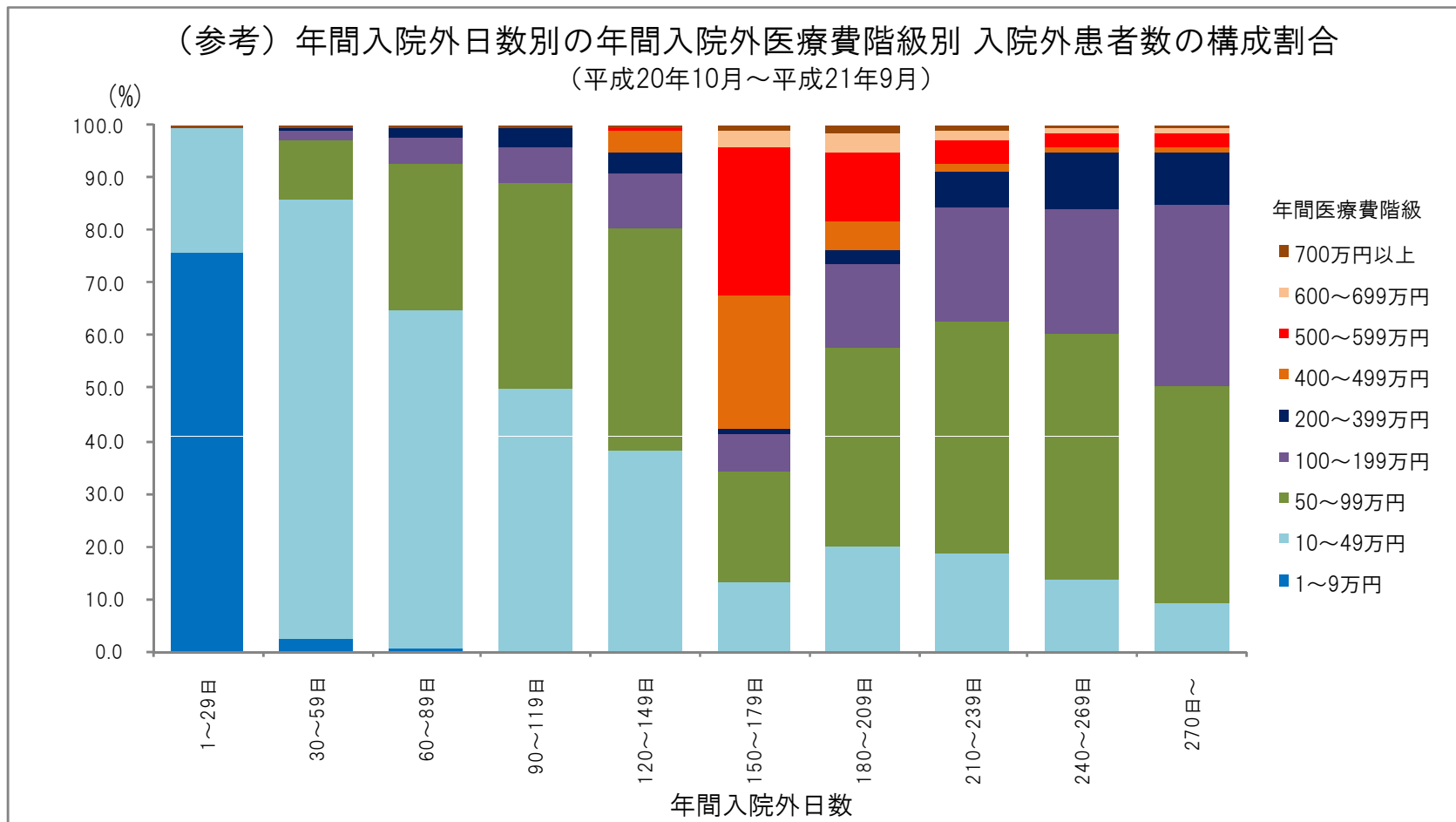


## 【入院】



注. 加入期間が1年間ある患者について、平成20年10月～平成21年9月までのレセプト(入院)から集計したもの

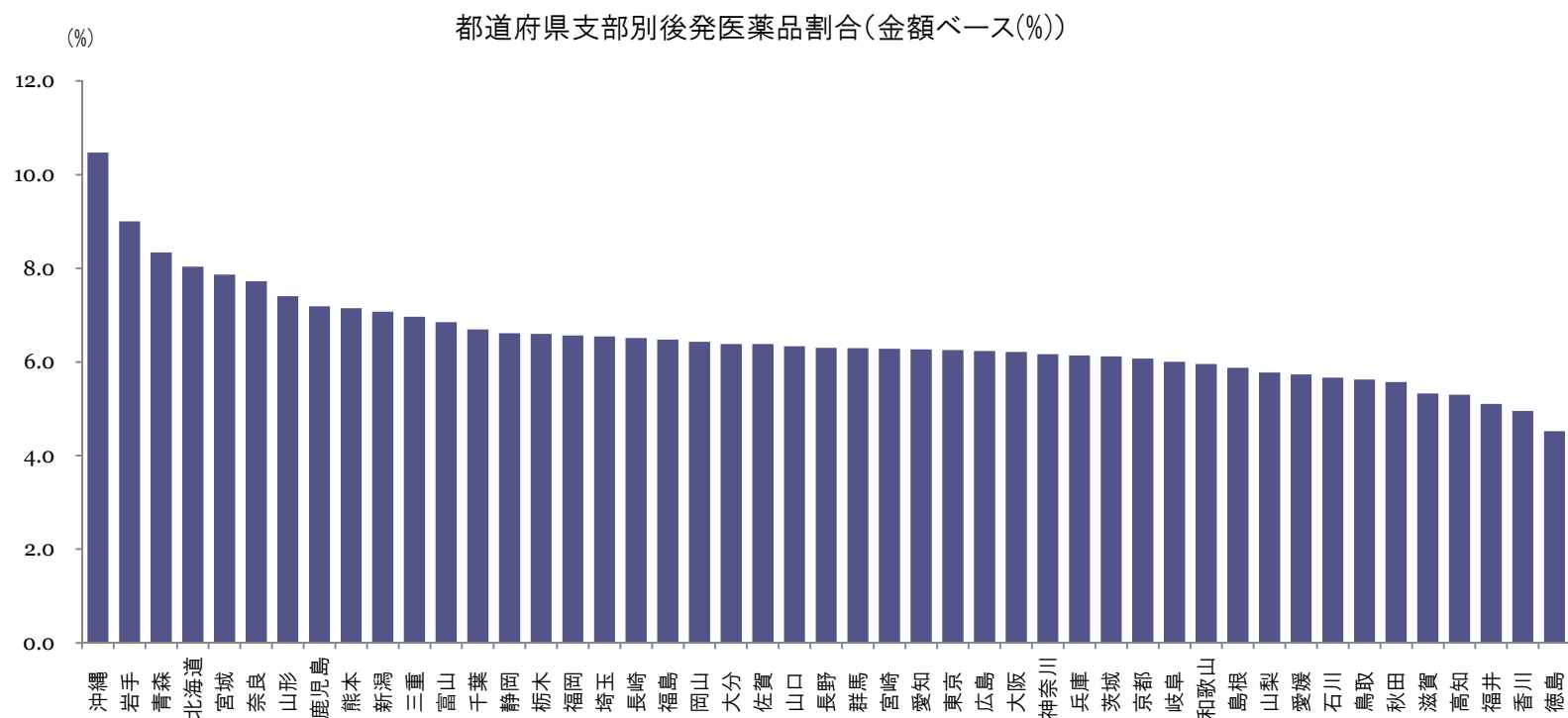
## 【入院外】



注. 加入期間が1年間ある患者について、平成20年10月～平成21年9月までのレセプト(入院外と調剤)から集計したもので、年間入院外医療費には、調剤レセプト分を含む。

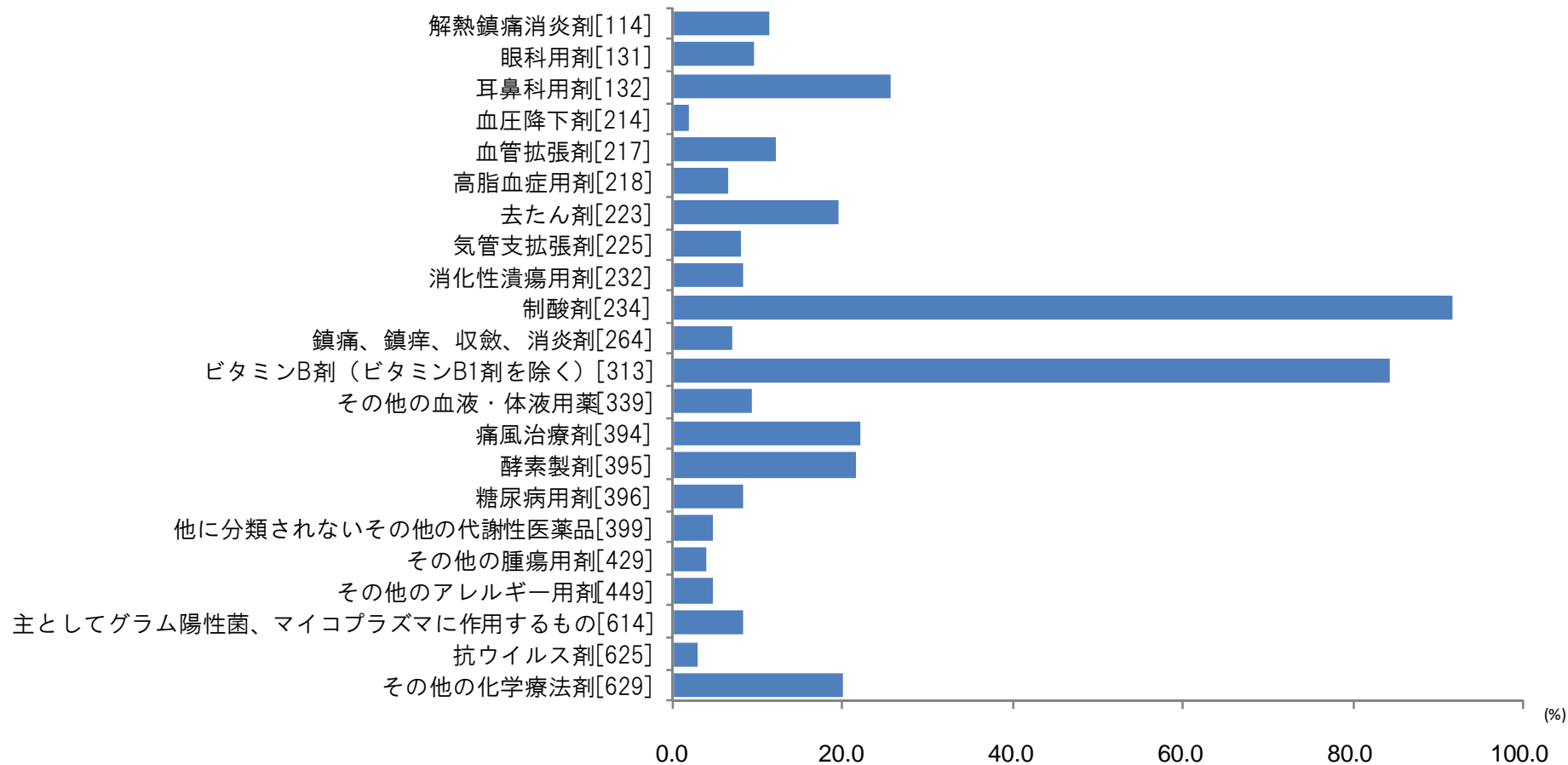


## 【2. 協会けんぽの加入者における後発医薬品の使用状況】



注. 平成20年10月～平成21年3月診療分の調剤レセプト(算定ベース)について集計したもの(電子レセプトに限る)

(参考) 後発医薬品の使用が多い主な薬効分類における後発医薬品割合 (金額ベース)



注1. 平成20年10月～平成21年3月診療分の調剤レセプト(算定ベース)について集計したもの(電子レセプトに限る)

注2. 括弧内は「日本標準商品分類」の「中分類87-医薬品及び関連製品」に準拠した分類番号

後発医薬品割合